



東中だより



No.10 令和2年12月28日 伊丹市立東中学校長 垣内 修

保護者の皆様へ

長かった2学期を、12月28日月曜日をもって無事終えることができました。最後の終業式もZOOMを活用しての式となりました。2020年がもうすぐ終わります。

昨年末の新型コロナウイルス感染症襲来以降、その対応に翻弄された一年でした。緊急事態宣言、約3か月にわたる臨時休校、その後の感染症予防対策の日々、そして第3波と言われている現在の状況。先行きを見通すことが難しく、多くの我慢を強いられたコロナ禍の中ではありましたが、子どもたちは、日々たくましく、常に前を向いて成長していきました。日々の授業を、学校生活を、子どもたちは頑張り抜きました。

この2学期、生徒の言葉でよく耳にした言葉があります。「できることに感謝して！」体育演技発表会もそうでした。工夫しながら密を避けて…。合唱発表会もそうでした。マスクをして向き合わず外を向いての練習…。今までとは違う生活様式の中で、どうやって今までの楽しい学校生活に近づけていくのか、本当に考え、悩み、苦しみながらも工夫をして、前を向いてみんなで頑張ってきた2学期でした。皆の力強さをいたるところで感じました。

それは、根底に「感謝」の気持ちがあったからだと思っています。保護者やご家族、地域の人、友達や先輩・後輩、学級や学年、先生等、多くの人の支えや絆を感じ、「できることに感謝」できたからこそ、多くの成果と結果をだすことができたのではないかと思います。この2学期、このコロナ禍だからこそ感じた「感謝する気持ち」を、ぜひこれからも大切にしてほしいと思っています。

そして、このような中でも無事に2学期終業式を迎えられたのは、保護者の皆様のご理解とご協力、ご支援があったることであると思っています。また、この間、大きな混乱もなく学校運営を行うことができたことも皆様のおかげと心より感謝いたしております。誠にありがとうございました。

まだまだ先の見えない状況ですが、感染予防をしっかりとて、子どもたちの為に何ができるかを考え、笑顔あふれる学校となるように教職員一同、力を合わせて取組を進めていきたいと思っています。

来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

どうぞよいお年をお迎えください。

